

- 1 議案名 徳島県教科用図書選定審議会への諮問事項について
- 2 提案理由 令和6年度使用教科用図書の採択に関して、徳島県教科用図書選定審議会へ徳島県の採択に係る採択基準及び調査研究の方法等について諮問するため
- 3 関係法令 義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第11条
義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第8条
学校教育法附則第9条

学校教育課・特別支援教育課

諮 問 事 項

1 令和 6 年度使用教科用図書の採択基準及び調査研究の方法等について

- ・令和 6 年度使用小学校用教科用図書について
- ・令和 6 年度使用学校教育法附則第 9 条教科用図書について

令和6年度使用小学校用教科用図書採択基準（案）

採択の原則

小学校及び中学校用教科書については、学校教育法附則第9条の規定による教科書を除き、それぞれ小学校用又は中学校用教科書目録に登載されているものの中から採択されなければならない。

また、学校教育法附則第9条の規定による教科書を除き、4年毎に採択替えが行われる。
(参考：教科書採択事務取扱要領 文部省 平成3年3月)

1 一般的基準

- (1) 教育基本法に定める教育の目的及び方針、学校教育法に定める当該学校の目標等に合致している。
- (2) 学習指導要領に定める当該教科の目標に合致している。
- (3) 特定の政党や特定の宗派にかたよっていない。
- (4) 地域の実情及び児童の個に応じた指導に適合している。

2 調査研究項目及び調査研究基準

(1) 一般的な内容

- ア 内容の程度が、その学年の児童の心身の発達に適応している。
イ 誤りや不正確なところがなく、一面的な見解だけをとりあげている部分がない。

(2) 教科内容

- ア 学習指導要領に示す教科の目標及び学年の目標達成に適切なものが選ばれている。
イ 様々な学習活動を促したり、児童に能力や態度を育成するのに相応しい適切なものである。
ウ 特定の分野や事象などにかたよらず、全体的な調和とともに教科本来のよさがよく表れている。
エ 一人一人の理解や習熟の程度に応じた学習を展開するのに相応しい学習内容が適切に配置されている。

(3) 組織・配列

- ア 組織・配列・分量が学習を有効に進めることができるように考慮されている。
イ 目次・索引・注記・凡例・図表・さし絵等が、教科書として使用する上で適している。

(4) 表現・体裁

- ア 漢字・かなづかい・ローマ字つづり・記号・用語・単位などが適切であり、児童に理解されやすいものである。
イ 印刷・文字の大きさ・行間・書体・版型・分冊並びに図書としての各部の表示などが適切である。
ウ 製本の様式・材料並びに体裁などが適切である。

(5) 地方事情への適合

- ア 地域や学校の教育事情・自然的・経済的・文化的諸条件に適合している。

令和6年度使用小学校用教科用図書採択に係る調査研究の方法

※ 令和6年度使用教科用図書の採択に係る調査研究は、下記様式に、1種の教科書につき1枚、本用紙を使用し、学習指導要領の内容等のどの点を重視しているかを調べ、5つの観点すべてに各教科書の特徴がよく表れるよう調査研究内容を記述することとする。その際、別添の「小学校用教科用図書用記述評価のための参考資料」をよく踏まえること。

教科別 調査結果表 校種（小学校） 種目（ ） NO.（ ）

発行者		使用学年	教科書		教科書名	調査結果				
番号	略称		記号	番号						
					①一般的な内容					
					②教科内容					
					③組織・配列					
					④表現・体裁					
					⑤地方事情への適合					

小学校用教科用図書用記述評価のための参考資料

項目		着 眼 点 等
1 一般的 内 容	児童の発達	<p>① 内容や表現は児童の心身の発達に即応しているか。 ② 内容は児童の生活経験や自ら学ぶ意欲の育成に考慮されているか。 ③ 児童の心身の健康や安全及び健全な情操の育成について配慮され、学校教育全般の方針に沿っているか。 ④ 内容は児童に興味・関心を起こさせるようになっているか。 ⑤ 児童の個に応じて活用できる幅があるか。</p>
	正 確	<p>① 文字やその他の表現は正確であるか。 ② 事実に基づき科学的に正確であるか。 ③ 引用、掲載された資料については出所や著作者名、その他必要に応じて出典、年次など学習上必要な事項が示されているか。 ④ 統計などの資料は、信頼性のある適切なものが選ばれているか。 ⑤ 図、表、グラフ、地図などは、各教科に応じて、通常の約束、方法に従って記載されているか。</p>
	社会の変化 や発展	<p>① 現代の社会及び個人の生活において要求されているところにそつたものであるか。 ② 社会の変化に主体的に対応できる能力を養うことに配慮されているか。 ③ 内容が現代の科学・技術の発展に即応しているとともに、現代の諸問題、諸情勢を考慮しているか。 ④ 諸資料が正確であり、現代の進歩を反映しているか。</p>
2 教科 内 容	教科の特性	<p>① 本教科に対する児童の興味や関心を掻き立てるような魅力的な内容となっているか。 ② 本教科において育てたい能力や資質を十分に伸ばしうる適切な教材の内容となっているか。 ③ 本教科において習得すべき基礎的・基本的な技能が効果的に身に付けられるような内容となっているか。 ④ 本教科において十分に理解すべき事項や習得すべき知識が合理的に網羅されている内容となっているか。 ⑤ 一人一人の理解や習熟の度合いに対応するために、発展的な学習等の内容が適切に配置されている。 　・学習指導要領の目標、内容の趣旨を逸脱していないか。 　・児童の心身の負担過重となっていないか。 　・主たる学習内容との適切な関連性があるか。 　・「発展的な学習内容」等であることを明示しているか。 　・教科書全体に占める割合が適切であるか。</p>
3 組 織 ・ 配 列	配 列	<p>① 全体として系統的、発展的に組織されているか。 ② 内容が前後の関連を保ち、かつ興味をそぞるように変化に富んだ配列になっているか。 ③ 基礎的・基本的な内容を修得させる上で適切な事項に精選されているか。 ④ 内容の組織及び相互の関連は適切であるか。 ⑤ 他の分野や領域、他の教科等の内容と矛盾がないか。 ⑥ 個々の児童の実態に応じて学習する内容について、編集上の区分が明確であるか。</p>
	分 量	<p>① 分量が指導時間に応じて適當であるか。 ② 分量が児童の心身の発達からみて適當であるか。</p>
	区 分	<p>① それぞれの区分は、児童の興味を持続させるのに適當であるか。 ② それぞれの区分が独立して扱えるとともに、他の区分と有機的な関連が工夫されているか。</p>

	有効な使用	<ul style="list-style-type: none"> ① 目次は適切、有効であるか。 ② 注の索引、参考資料等が適切に用意されているか。 ③ 児童の興味や関心、能力等に応じて学習課題や学習方法などを選択できるよう工夫されているか。 ④ 児童の主体的な活動を促すよう工夫されているか。 ⑤ 児童が家庭でも主体的に自学自習ができるよう工夫されているか。
	挿 絵	<ul style="list-style-type: none"> ① 挿絵は客観的にみて正確であり、興味をひくか。 ② 挿絵、写真等は、全体にバランスがとれ、その数も十分であるか。 ③ 挿絵、写真等は、理解できるように工夫されているか。 ④ 写真、図表等は、正確であるか。
4 表現・体裁	表 現	<ul style="list-style-type: none"> ① 表現が明確、平易で、魅力があり、児童が親しみやすいか。 ② 児童がその意味を理解するのに困難であったり、誤解したりするおそれのある表現などはないか。 ③ 表現の難易が適切に順序づけられているか。 ④ 図形等の表現は適切であるか。
	漢字かな	<ul style="list-style-type: none"> ① 漢字について児童の学習負担に必要な配慮がなされているか。 ② 教育漢字、当用漢字の使用法が正しく守られているか。 ③ 仮名遣い、ローマ字のつづり、用語、記号、単位などの表記は適切で、統一されているか。
	字の大きさ	<ul style="list-style-type: none"> ① 文字の大きさは、学年に応じ、教科に応じて適切であるか。 ② 字体が適切であるか。 ③ 字間、行間が適当にとられているか。
	印刷効果	<ul style="list-style-type: none"> ① 印刷は、鮮明で、児童の心を引付ける美しさを備えているか ② 必要に応じて色刷りなどが用いられているか。
5 地方事情への適合	教育目的地方化	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域の実情に応ずる幅があるか。
	児童の実態	<ul style="list-style-type: none"> ① 本県（本採択地区）の児童の学力の実態に即応しているか。 ② 本県（本採択地区）の児童の心身の発達に適しているか。 ③ 本県（本採択地区）の児童の生活経験に適応し、また興味・関心をおこさせるのに適しているか。
	教師の実態	<ul style="list-style-type: none"> ① 本県（本採択地区）の教育事情に合致しているか。 ② 本県（本採択地区）の教師の教育力に即応しているか。
	学校施設設備の実態	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校の施設・設備の実態に応ずる幅があるか。 ② 教育設備の不足する学校を考慮に入れて、挿絵や図解を入れてあるか。 ③ 児童の経験を刺激し得るように工夫されているか。 ④ 地方の状況や校外の自然及び設備を用いるように考慮されているか。
	学習環境その他	<ul style="list-style-type: none"> ① 本県（本採択地区）の気候、風土、自然環境に応ずる弾力性があるか。 ② 本県（本採択地区）の文化的特質に応ずる幅があるか。 ③ 児童の生活の地域的な特質に応ずる幅があるか。

※ 小学校英語のデジタル教科書の記述評価に参考となる情報については、県教育委員会が追って示すこととする。

令和6年度使用学校教育法附則第9条の規定による 特別支援学校・学級における教科用図書採択基準（案）

採択の原則

学校教育法附則第9条第1項の規定により特別支援学校の小学部及び中学部並びに特別支援学級において使用する教科書以外の教科用図書（特別支援学校・学級用一般図書）の採択に当たっては、採択権者は教科の主たる教材として教育目標の達成上適切な図書を選定すること。

（参考：令和6年度使用教科書の採択事務処理について 文部科学省 令和5年3月）

1 一般的基準

- (1) 教育基本法に定める教育の目的及び方針 学校教育法に定める当該学校の目標等に合致している。
- (2) 特別支援学校小・中学部学習指導要領（以下、学習指導要領という）に定める当該教科の目標に合致している。
- (3) 特定の政党や特定の宗派にかたよっていない。
- (4) 地域の実情及び児童生徒の個に応じた指導に適合している。

2 調査研究項目及び調査研究基準

(1) 一般的内容

- ア 学習指導要領に示す教科の内容が含まれている。
- イ 内容の程度が、児童生徒の障害の状況、心身の発達段階等に適応している。
- ウ 児童生徒が、興味関心をもって学習できるように適切な配慮がなされている。
- エ 児童生徒の生活の拡大に結びつけられる教材である。
- オ 誤りや不正確なところがなく、一面的な見解だけを取り上げている部分がない。

(2) 組織・配列

- ア 内容が理解しやすく、興味関心を高める組織・配列・分量である。
- イ 目次・索引・注記・凡例・図表・さし絵等が、教科書として使用する上で適している。

(3) 表現・体裁

- ア 漢字・かなづかい・ローマ字つづり・記号・用語・単位などが適切であり、児童生徒に理解されやすいものである。
- イ 文字の大きさや表示等が適切で、色彩が鮮明である。
- ウ 製本の様式・材料・体裁等が適切で、丈夫である。

(4) 地方事情への適合

- ア 地域や学校の教育事情・自然的・経済的・文化的諸条件に適合している。

令和6年度使用学校教育法附則第9条の規定による特別支援学校・学校における教科用図書採択に係る調査研究の方法

※ 令和6年度使用教科用図書の採択に係る調査研究は、下記様式に、1種の教科書につき1枚、本用紙を使用し、学習指導要領の内容等のどの点を重視しているかを調べ、4つの観点すべてに各教科書の特徴がよく表れるよう調査研究内容を記述することとする。その際、別添の「附則第9条教科用図書記述評価のための参考資料」をよく踏まえること。

調査研究結果表（附則第9条教科用図書） NO. ()

発行者コード	発行者名	図書コード	書名	調査結果	その他（単価等）
				<p>①一般的な内容</p> <p>②組織・配列</p> <p>③表現・体裁</p> <p>④地方事情への適合</p>	

附則第9条教科用図書用記述評価のための参考資料

項目		着眼点等
1 一般的 内容	基準内容	<p>① 学習指導要領に示す学習内容が含まれているか。 ② さまざまな学習活動を促すようになっているか。 ③ いろいろな能力、態度等が養えるように考慮されているか。 ④ 内容に考え方の偏りがなく、全体として調和がとれているか。</p>
	児童生徒の発達	<p>① 内容や表現が、児童生徒の障害の状況、心身の発達段階に適応しているか。 ② 児童生徒に興味・関心をもたせ、自ら学ぶ意欲をかきたてる内容であるか。 ③ 児童生徒の生活とかかわりが深く、生活の拡大に結びついた内容であるか。 ④ 児童生徒の個性に応じて活用できる幅があるか。</p>
	正 確	<p>① 文字やその他の表現は正確であるか。 ② 事実に基づき科学的に正確であるか。 ③ 資料は信頼性のある適切なものであるか。</p>
	現代の進歩	<p>① 現代の社会及び個人の生活において要求されているところにそつたものであるか。 ② 社会の変化に主体的に対応できる能力を養うことに配慮されているか。</p>
2 組織・配列	配 列	<p>① 配列が児童生徒の経験を積み上げる展開をさせるようになっているか。 ② 内容が前後の関連を保ち、かつ興味をそそるように変化に富んだ配列になっているか。 ③ 基礎的・基本的な内容を修得させる上で適切な事項に精選されているか。 ④ 他教科との関連がよく考慮されているか。</p>
	分 量	<p>① 分量が児童生徒の心身の発達からみて適当であるか。</p>
	挿し絵	<p>① 挿し絵、図表・写真等が適切に配置され、その数も十分であるか。 ② 挿し絵、写真等が、教科書として使用する上で適しているか。</p>
3 表現・体裁	表 現	<p>① 表現が明確、平易で魅力があり、児童生徒に親しまれやすいか。 ② しきけのあるものや、操作できるものなど、学習意欲が高まるような工夫がされているか。</p>
	漢字かな	<p>① かなづかい、漢字等の使用が適当であり、児童生徒に理解されやすいものであるか。</p>
	文字の大きさ	<p>① 文字の大きさは適切であるか。 ② 字体が適切であるか。 ③ 字間、行間が適当にとられているか。</p>
	印刷効果	<p>① 印刷が色彩豊かで鮮明で、児童生徒の心を引き付ける美しさを備えているか。</p>
	材 料	<p>① 安全な素材で、扱いやすく丈夫であるか。 ② 触覚、視覚、聴覚などを刺激する素材を使う等の工夫があるか。</p>
4 地方事情への適合	学校施設・設備の実態	<p>① 学校の施設・設備の実態に応ずる幅があるか。 ② 児童生徒の経験を刺激し得るように工夫されているか。 ③ 地方の状況や校外の自然及び設備を用いるように考慮されているか。</p>
	学習環境その他	<p>① 本県の気候、風土、自然環境に応ずる弾力性があるか。 ② 本県の文化的特質に応ずる幅があるか。 ③ 児童生徒の生活の地域的な特質に応ずる幅があるか。</p>
その 他		<p>① 単価 ② シリーズ名等</p>